東洋大学との交流事業

９月２日から５日までの４日間、東洋大学の学生12名が今金町を訪れ、今金町の方々との交流事業が行われました。

３日は、北海道今金高等養護学校との交流会や、こぶしの会とのパエリア作りを通じて親睦を図りました。４日は、今金町総合体育館で開催された「第49回今金町高齢者いきいき運動会＆ふれあい演芸会」に参加し、高齢者や認定こども園いまかねの園児とともに、パークでポンや風船運びなど７種目の競技に挑戦。東洋大学生が考案した「脳トレ体験」も行われ、参加者は体と頭を動かしながら、世代を超えた交流を楽しみました。

第 11 回ピリカふれあいマラソン

９月５日、美利河ダム湖周辺で「第11回ピリカふれあいマラソン（主催：総合型地域スポーツクラブいまかね）」が開催され、町内をはじめ全道各地から63名が参加しました。

晴天の中、参加者は日ごろの練習の成果を発揮すべく気持ちの良い汗を流し、選手がゴールするたびに声援や大きな拍手が送られるなど、アットホームな大会となりました。競技終了後は今金町の特産品が当たる抽選会が行われ、景品の今金和牛にはひと際大きな歓声があがりました。閉会式では山田悟会長より挨拶があり、参加者へのねぎらいと感謝の言葉が送られました。

令和８年米の初出荷

９月４日、吉本辰也さん（鈴岡地区）と河田芳範さん（神丘地区）が、今金町玄米バラ集出荷調整施設へ新米「ゆめぴりか」を搬入し、今金町農協の小田島組合長をはじめ、関係者が立ち会う中、今年の新米の初出荷が行われました。

初出荷のセレモニーでは、関係者に新米のおにぎりが振る舞われました。新米は甘みが強く、参加者はそのおいしさを味わいながら、今年の初出荷を祝いました。

病院を受診される際は、「マイナ保険証」または

今金町まちづくり講演会

９月９日、今金町民センター２階大会議室で、今金町ふるさと応援大使補佐・鹿取広幸氏による講演会が開催されました。

50名を超える参加者に対し、教育コンサルタントの鹿取広幸氏はより良い地域づくりのために人と人による世代を超えた「信頼」がカギになると話し、まちづくりと教育の深い関係性やその重要さについて考える場となりました。

今金町ふるさと応援大使であり仏像彫刻師「紫雲苑」の鹿取千恵氏と中島町長を交えたトークセッションでは、これからの今金町の飛躍に期待し、挑戦を大切にする思いを語り合いました。

シニアカレッジいまカレおはなし会

９月６日、今金町民センターで「シニアカレッジいまカレ　図書室おはなし会」が行われ、幼児から年配の方まで45名の参加がありました。

今回は大型紙芝居じゃがいもの花の協力により、手作りの大型紙芝居「ねずみのすもう」や、大型絵本の読み聞かせが披露されました。参加者たちは音楽も交えた大型紙芝居の迫力ある演出や物語に聞き入り、楽しんでいました。会場には工作コーナーや絵本コーナーも設けられ、色々な本に触れるひとときとなりました。

鳳凰山による交通安全啓発

９月16日、役場前の国道で、鳳凰山（秋祭りを盛り上げる会）による交通安全啓発が実施されました。

この活動は、今金八幡宮例大祭の開催時期に合わせて毎年行われているもので、町の特産品「今金男しゃく」をドライバーに手渡しながら、安全運転を呼びかけるものです。

当日は、せたな警察署の協力のもと交通整理を行い、「安全運転にご協力をお願いします」と声をかけながら、袋詰めされた今金男しゃくを一台一台に手渡しました。

幼少年芸術劇場　北翔大学演劇公演

９月11日、町民センターで、今金町幼少年芸術劇場（中学生の部）として「北翔大芸術鑑賞会あゆみ今金公演」が行われ、今金中学校の生徒に加え、一般町民など約150名の来場者がありました。

大学生による手作りの舞台と演劇を鑑賞し、その後は観客を交えたワークショップが行われました。

最後は、今金中学校生徒会長の水野怜音さんから「演劇を通して毎日の一歩一歩が大切だと感じました」と挨拶があり、参加者にとってひとときの芸術の秋を楽しむ時間となりました。

【国保病院からのお知らせ】休日や夜間に救急で「資格確認証」をご持参ください。